

STOP!

転倒災害



転倒災害は、すべての職場で発生する可能性があります。

職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

たかが「転倒」と侮るなかれ！

あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて

転倒災害防止対策に取り組み、「安全・安心な職場づくり」を進めましょう！

「転倒災害」は、毎年、休業4日以上の労働災害の中で最も多く発生しています。

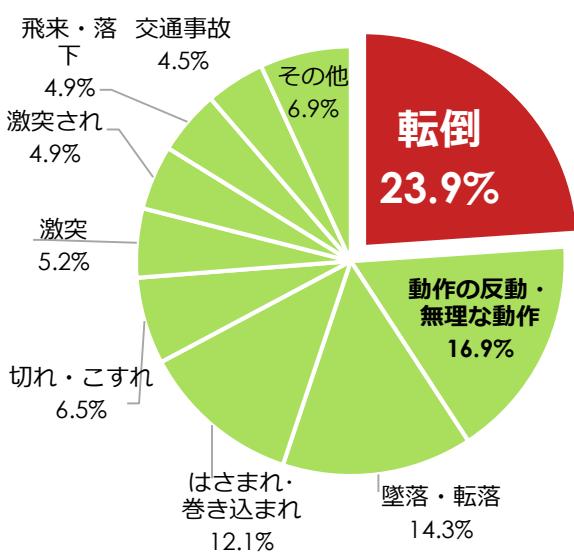


図-1 全産業での事故の型別労働災害発生状況（令和5年）
資料：労働者死傷病報告

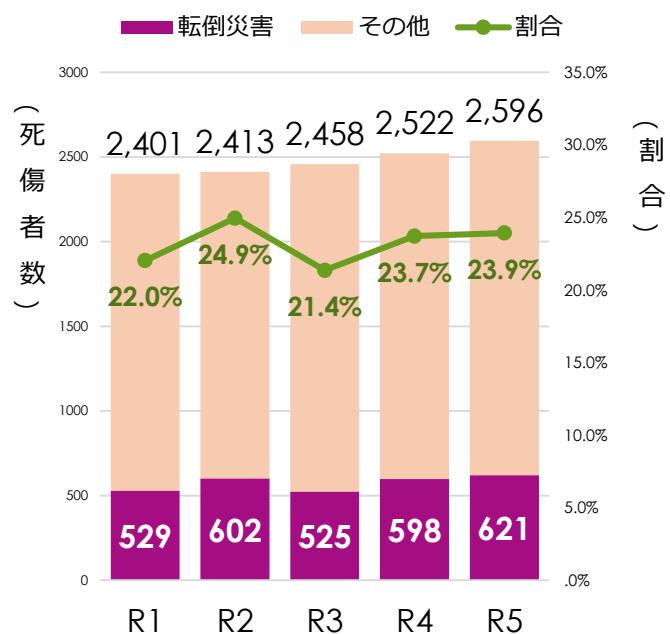


図-2 転倒災害の年別推移（令和元年～令和5年）
資料：労働者死傷病報告

業種別では、製造業と第三次産業で多く発生しています。
第三次産業では、小売業と社会福祉施設で
多くなっています。

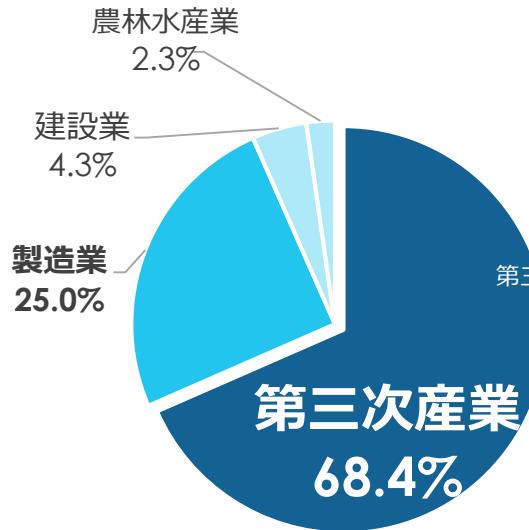
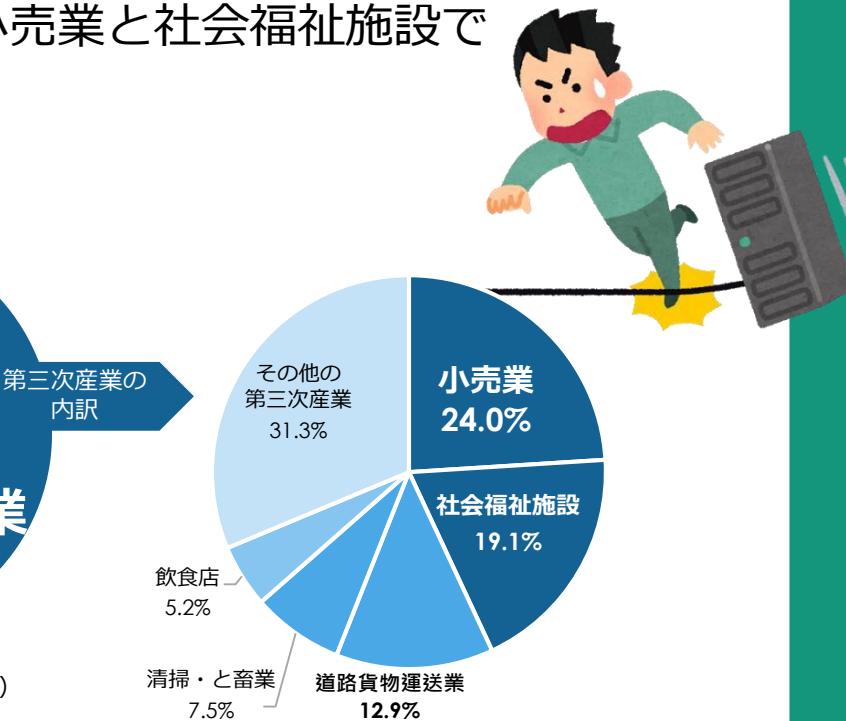


図-3,4 業種別労働災害発生状況（令和5年）
資料：労働者死傷病報告



「転倒災害」は50歳以上が全体の7割以上を占めています。

これは加齢による筋力や平衡感覚、視力の低下などが考えられます。

また、一般的に女性は、男性より筋肉量や骨量が少ないとされ、転倒によるケガのリスクが高くなっています。

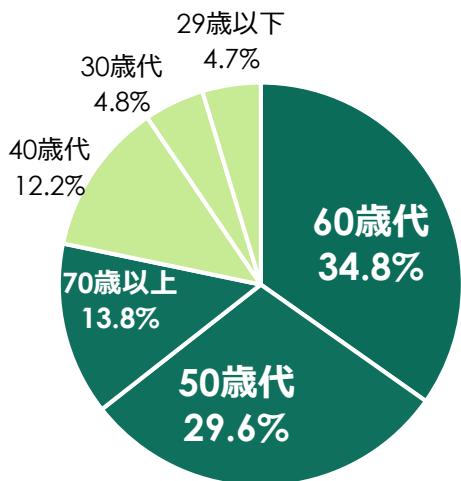


図-5 転倒災害における年代別労働災害発生状況
(令和5年) 資料：労働者死傷病報告

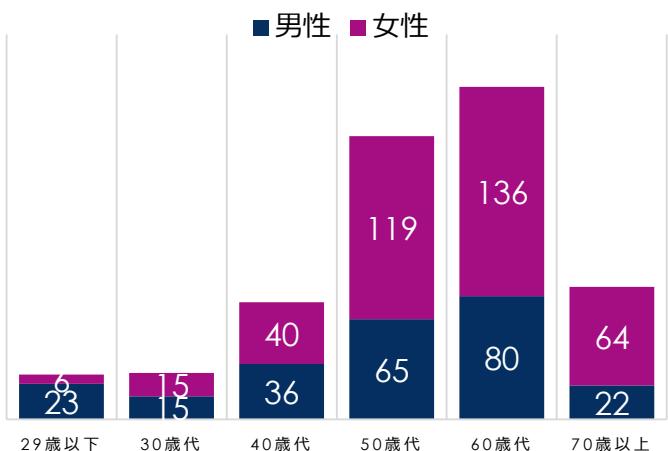


図-6 転倒災害における年代別性別労働災害発生状況
(令和5年) 資料：労働者死傷病報告

「転倒災害」の発生場所は「通路」、「階段」、「作業床」で多くなっています。

主な原因は、物につまずく、床ですべるなどですが、動作の反動でバランスを崩して転倒することも多くなっています。

日頃から意識して転倒災害を防止しましょう！

4Sを
徹底しよう！

転倒危険場所を
「見える化」
しよう！

転倒しにくい
作業方法を
実施しよう！

時間に余裕
を持って
行動しよう！

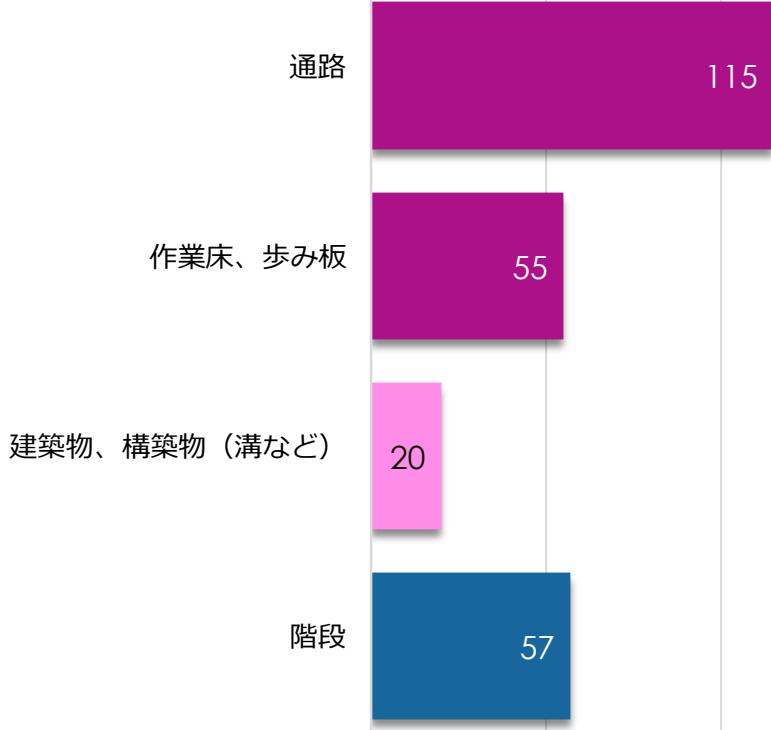


図-7 転倒災害の主な起因物（令和5年）
資料：労働者死傷病報告

※以下のような転倒内容が多くなっています！

- ①通路・床にある物につまずく
- ②段差につまずく
- ③濡れた床ですべり
- ④動作の反動・バランスを崩し
- ⑤照度不足



職場の安全サイト
(転倒災害防止対策の推進について！)

転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいますか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果はいかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！

